

## 2022年度事業計画

＜公益財団法人電通育英会の事業目的の確認（定款第3条より）＞

この法人は、優秀でありながら経済的理由により修学が困難な、日本国内で学ぶ大学生・大学院生に対する奨学金の給付を行うとともに、育英に関する調査研究・情報提供および大学生等の人材育成活動に対する助成事業を行い、もって社会を牽引する人材を育成することを目的とする。

＜2022年度事業計画について＞

### 1-1 大学生への奨学金給付事業 ＜公益事業1＞

#### (1) 大学生への奨学金給付（高校時予約採用）

2022年度の大学進学予定者の募集・選考の結果、採用内定者とした103名、及び前年度に内定している一浪生15名を合わせた118名の内定者のうち、2022年4月に当財団指定の大学に入学した者に対し、2022年度採用者として奨学金の給付を開始する。

2022年度は、過去3年間に採用された269名と合わせて369名を見込む。（2021年度の大学奨学生数346名から23名増）

＜2022年度給付者予定総数＞ \*2022年度採用（1年生）は想定人数。

|               | 一般枠   | 芸術枠 |
|---------------|-------|-----|
| 2019年度採用（4年生） | 90名   | 2名  |
| 2020年度採用（3年生） | 88名   |     |
| 2021年度採用（2年生） | 89名   |     |
| 2022年度採用（1年生） | 100名* |     |
| 大学1～4年生合計     | 369名  |     |

※2020年度採用より、一般枠と芸術枠を統合

#### ★大学生 奨学金（入学一時金30万円・受験等助成金10万円を含む）

| 2021年度予算  | 2021年度実績見込 | 2022年度予算  |
|-----------|------------|-----------|
| 3億3,988万円 | 3億2,764万円  | 3億4,996万円 |

＜2022年度予算増加要因＞：募集人員拡大により採用増を見込むため

#### (2) 大学奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的に、2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始。2020年度からはより活用しやすい制度に改訂し、制度の利用促進を図った。2021年度からはコロナ禍によって海外渡航が制限されている状況に鑑み、オンライン留学への支援を拡充した。

#### ★大学生 海外留学・活動支援金

| 2021年度予算 | 2021年度実績見込 | 2022年度予算 |
|----------|------------|----------|
| 1,000万円  | 704万円      | 1,000万円  |

1-2 大学院生への奨学金給付事業 <公益事業1>

(1) 大学院生への奨学金給付

電通育英会大学奨学生に対して2022年度の大学院進学予定者の募集を2021年1月に行い、奨学生選考委員による書類選考および面接選考の結果、28名を内定とした。その後、1名は9月に大学院へ早期進学し2021年度採用扱いとなり、8名は内定を辞退した(6名は就職を選択、2名は休学及び病気療養により院試受験せず)。19名の大学院進学が決定し2022年度正式採用となる。

2022年度は、2021年度採用の27名と合わせて46名を見込む。(2021年度の大学院奨学生39名から7名増)

また、2023年4月大学院進学希望者の募集・選考作業は、下記のとおり実施する。

- ①給付対象：
  - ・当財団の大学奨学生で、書類提出やセミナー参加などの奨学生の義務を果たしていること
  - ・キャリア形成上、修士課程への進学に必然性が認められる者
  - ・成績優秀で、かつ学費の援助が必要と認められる者
- ②採用者数： 40名程度
- ③給付金額： 月額8万円(最長2年間給付)
- ④選考方法： 大学3年生対象に2022年1月に募集し40名が応募。  
奨学生選考委員による書類選考と面接選考を経て、6月に理事長が内定決定。  
2023年4月に当財団指定の大学院に進学した者を奨学生として採用。

★大学院生 奨学金

| 2021年度予算 | 2021年度実績見込 | 2022年度予算 |
|----------|------------|----------|
| 3,744万円  | 3,744万円    | 4,416万円  |

<2022年度予算増加要因>：2021年度から理系学生も対象となり大学院進学者が増加

(2) 大学院奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、将来、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的に、2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始。2021年度より大学奨学生と同様に、オンライン留学への支援を拡充した。

★大学院生 海外留学・活動支援金

| 2021年度予算 | 2021年度実績見込 | 2022年度予算 |
|----------|------------|----------|
| 200万円    | 0万円        | 250万円    |

<2022年度予算増加要因>：奨学生の増加に伴う※大学院生の2021年度海外留学実績はなし

<参考>今後3年間の奨学生数の推移予測

|         | 2021年度       | 2022年度       | 2023年度       | 2024年度       |
|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 大学奨学生①  | 13年目<br>346名 | 14年目<br>369名 | 15年目<br>377名 | 16年目<br>389名 |
| 大学院奨学生② | 9年目<br>39名   | 10年目<br>46名  | 11年目<br>59名  | 12年目<br>80名  |
| 合計①+②   | 385名         | 415名         | 436名         | 469名         |

## 2. 奨学生対象のセミナー等の実施 <公益事業1>

### (1) 奨学生全員に対する「奨学生の集い」の実施

2021年度はコロナ禍の影響により11月から2月に延期し、かつベルサール汐留会場での開催をオンライン開催に切り替えて実施した。2022年度は東京会場での11月実施を予定とする。

- ・参加者：現役奨学生全員（約400名）、OBOGの参加希望者、大学関係来賓、  
電通育英会役員・奨学生選考委員
- ・講演：未定
- ・開催日：2022年11月中旬
- ・会場：未定（東京周辺）

#### ★「奨学生の集い」関連費 \*奨学生の交通費含む

| 2021年度予算 | 2021年度実績見込 | 2022年度予算 |
|----------|------------|----------|
| 1,488万円  | 692万円      | 1,559万円  |

<2022年度予算増加要因>：奨学生増加に伴う参加者増加および会場変更に伴う会場費・運営費の増加

### (2) 大学1・2年生セミナーの実施

大学1年生と2年生に対して、9月に1泊2日の合宿形態で実施する。アイデア発想力をベースにコミュニケーションスキルやアイデア発想力の育成などをテーマとして、グループ討議、プレゼン演習並びに奨学生同士の交流・懇親を図り、次世代人材を育成する一助とする。なお、カリキュラムについては、次世代リーダーシップ人材育成の観点から検討を行う。

- ・1年生対象：コミュニケーション研修、2年生対象：アイデア発想力養成研修
- ・開催日：大学1・2年生ともに、2022年9月17日（土）、18日（日）
- ・会場：湘南国際村センター（神奈川県葉山町）

#### ★「大学生1・2年生セミナー」関連費 \*奨学生の交通費含む

| 2021年度予算 | 2021年度実績見込 | 2022年度予算 |
|----------|------------|----------|
| 1,331万円  | 608万円      | 1,555万円  |

<2022年度予算増加要因>：集合研修での実施を想定。カリキュラムの強化により増加

### (3) 大学3年生・大学院生セミナーの実施

次世代リーダーの人材育成支援として、大学3年生に対しては自らのキャリアデザインに関するセミナーを、就活時期に合わせて8月から5月に繰り上げて1泊2日の合宿形態で実施する。合わせて、活躍する社会人と接する機会を設けるべく電通育英会OBOGに可能な範囲での参加を検討していく。大学院生に対しては社会課題への取り組みを意識しつつアイデア発想で課題解決を図るセミナーを、実施方法も含めて検討する。

- ・大学3年生：自己分析とキャリアデザイン研修  
開催日：2022年5月21日（土）～22日（日）  
会場：クロス・ウェーブ船橋（千葉県船橋市）
- ・大学院生：次世代リーダーを意識したアイデア創造のための研修  
開催日/会場：未定

#### ★「大学3年生・大学院生セミナー」関連費 \*奨学生の交通費含む

| 2021年度予算 | 2021年度実績見込 | 2022年度予算 |
|----------|------------|----------|
| 1,108万円  | 522万円      | 1,428万円  |

<2022年度予算増加要因>：集合研修での実施を想定。奨学生の参加者増、カリキュラムの強化、OBOGの参加により増加

#### (4) 修了生交流会

2023年3月に卒業・修了予定の大学・大学院奨学生を対象として東京会場にて実施する。卒業・修了後の各界での活躍を期待して、当財団の選考委員とともに電通育英会 OBOG も参加し、電通育英会ネットワークによる以後の交流を図る。

- ・参加者：卒業・修了予定の奨学生（約110名）、OBOGの参加希望者、奨学生選考委員、電通育英会役員
- ・開催日：2023年3月中旬
- ・会場：帝国ホテル

#### ★「修了生交流会」関連費 \*修了生の交通費含む

| 2021年度予算 | 2021年度実績見込 | 2022年度予算 |
|----------|------------|----------|
| 555万円    | 334万円      | 711万円    |

<2022年度予算増加要因>：大学奨学生、大学院奨学生増加に伴う参加者増加

### 3. 大学教育における人材育成に役立つ調査データ・情報の提供 <公益事業1>

#### (1) 会報誌「IKUEI NEWS」の発行（年4回）

奨学生や高等教育関係者への有益な情報提供を目的に、会報誌「IKUEI NEWS」を年4回発行。奨学生（OBOG含む）、大学関係（学長・広報）、対象高校に加え、全国の図書館、新聞社、教育研究機関等に向けて各号約4,500部を配布。

2022年度は「次世代リーダーへのステップアップ」を年間テーマとする。VUCA時代は誰もがリーダーシップをもって行動することが求められる時代であり、学生生活の中で、自分をよく知り、リーダーシップを育む期間とするために、学生時代のさまざまな領域での行動変容を促すような内容とする。

各号の特集は以下のとおり。

|          | 発行月      | 特集テーマ               |
|----------|----------|---------------------|
| Vol. 98  | 2022年4月  | 越境する学び              |
| Vol. 99  | 2022年7月  | 課外活動が教えてくれること（仮）    |
| Vol. 100 | 2022年10月 | 社会を見据えた“ビジョンづくり”（仮） |
| Vol. 101 | 2023年1月  | 未来を変える知と実践（仮）       |

#### ★会報誌関連費

| 2021年度予算 | 2021年度実績見込 | 2022年度予算 |
|----------|------------|----------|
| 3,500万円  | 3,410万円    | 3,500万円  |

#### (2) 調査研究

2022年度は、以下3件の調査研究を実施する予定。

- 1 桐蔭学園（理事長/トランジションセンター所長/桐蔭横浜大学学長・教授 溝上慎一氏）と共同で実施するトランジションに関する以下の調査研究  
「主に高校生・大学生・若年成人（主に初期キャリア期の20代社会人）を対象とした学校から仕事・社会へのトランジション（移行）に関する調査研究」
- 2 立教大学（経営学部 中原淳研究室）と共同で実施するトランジションに関する以下の調査研究  
「学校から仕事・社会へのトランジションに関する研究推進の一環として若年労働者の初期キャリア形成に関する研究」
- 3 3年に一度（2007年・2010年・2013年・2016年・2019年）桐蔭学園 溝上先生監修のもとで実施している「大学生キャリア意識調査（第6回）」

★調査関連費

| 2021 年度予算 | 2021 年度実績見込 | 2022 年度予算 |
|-----------|-------------|-----------|
| 1,584 万円  | 1,364 万円    | 1,914 万円  |

<2022 年度予算増加要因> : 「大学生キャリア意識調査 (第 6 回)」の実施費用増

(3) 「リーダー育英塾」

「高大社連携を意識したトランジション教育改革」を教育界で推進していく「次世代リーダー」の育成を目的に、2018 年から「リーダー育英塾」を開始。第 1 期生 (2018 年) 34 名、第 2 期生 (2019 年) 32 名、第 3 期生 (2021 年、オンライン開催) 42 名を輩出。2020 年度はコロナ禍により中止し、8 月に特別オンラインセミナー「コロナ禍を乗り越えるスクールリーダーシップ」を実施した。

コロナ禍で学校改革が進み、リーダー育英塾 OBOG の活躍が報告されている。2022 年度も第 4 期リーダー育英塾の開催を計画しており概要は以下のとおり。

<第 4 期リーダー育英塾>

- ・日程/2022 年 8 月 16 日 (火) ~18 日 (木) <2 泊 3 日の合宿>
- ・会場/クロス・ウェーブ船橋 (船橋市)
- ・募集対象者/教育現場を持っている、高校又は短期大学・大学等の関係者 30 名程度
- ・募集方法/3 月下旬より電通育英会ホームページにて募集を開始予定 (事前課題有)。応募締切は 4 月末予定。選考は講師およびファシリテーター。
- ・参加費/ 無料 (ワークショップ・宿泊・食事・懇親会に関わる費用)  
※現地までの交通費、会場での OA 備品等のレンタル等、個人に関わるものは自己負担
- ・監修・講師/溝上慎一 (桐蔭学園理事長/桐蔭横浜大学学長・教授)、  
中原 淳 (立教大学 経営学部 教授)

※なお、昨年 (2021 年) の第 3 期生はオンライン開催だったので、今回の合宿型リーダー育英塾に希望者が 8 月 17 日~18 日の 1 泊 2 日のプランにて参加する。

また、リーダー育英塾の成果を共有するカンファレンスを以下のとおり開催する予定。

<リーダー育英塾カンファレンス 2022>

- ・日程/2022 年 10 月中旬
- ・会場/未定 (オンラインでの開催も検討)
- ・内容/基調講演およびリーダー育英塾 OBOG による成果報告とディスカッション他
- ・募集対象者/中学校・高等学校・大学等の教職員および教育関係者 (企業の人材育成関係者等) 200~300 名程度
- ・募集方法/電通育英会ホームページにて募集予定

<OBOG 活動事例広報および情報交換会>

リーダー育英塾の参加者がその後の教育現場で実践している活動を、ホームページ等で公開する。また、リーダー育英塾の OBOG 並びに講師・ファシリテーターとの定期的な情報交換会の開催を計画する。

★リーダー育英塾関連費

| 2021 年度予算 | 2021 年度実績見込 | 2022 年度予算 |
|-----------|-------------|-----------|
| 1,110 万円  | 276 万円      | 1,635 万円  |

<2022 年度予算増加要因> : 電通ホール使用不可により発生するカンファレンス会場使用料。第 3 期生 (2021 年度) 希望者を第 4 期リーダー育英塾に参加させるための費用。

#### 4. 学生を対象とする次世代リーダーの育成活動に対する資金助成<公益事業2>

2022年度は15団体を採択した。各助成団体に対して、四半期毎の面談を実施して活動助成を行う。また、助成団体同士の交流を通じた学びの場としての交流会をオンラインで開催する予定。

##### ★人材育成活動助成事業関連費

| 2021年度予算 | 2021年度実績見込 | 2022年度予算 |
|----------|------------|----------|
| 1,580万円  | 1,465万円    | 1,496万円  |

<2022年度予算減少要因>：コロナ禍により、2021年度は前年度からの繰越しがあったため。

##### 2022年度助成団体（15団体）

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| アースデイ東京                              | 「アースデイ東京」<br>環境をテーマとするフェスティバル「アースデイ東京」において、環境・社会問題解決に向けたリーダー人材育成を目的とした「全国高校生環境アイデアコンペティション」を開催。  |
| 近江楽座とよさと快蔵プロジェクト<br>(滋賀県立大学公認団体)     | 「とよさとの空き家改修の現場を生かしたまちづくり人材の育成」<br>とよさと地域のゲストハウス等の改修を行いながら町民や近所の子供達に向けた木工などのワークショップを開催。   |
| NPO法人 キャンピズ                          | 「キャンプを通じた学生ボランティアスタッフ育成事業」<br>障がい児者・児童・高齢者と共にユニバーサルキャンプをすることで、ボランティアとして関わる学生が多世代交流の中で様々な学びを得る。   |
| グローバルクリエイティブリーダーズソサエティ<br>(東京大学公認団体) | 「技術と社会をつなぐデザイン人材の育成」<br>技術と社会をつなぐデザイン人材の育成を目的としたプレゼンコンペティションを開催し、社会課題解決のための最先端技術の研究や問題解決に取り組む若手人材(大学院生・若手研究者)を見出す。                     |
| 一般社団法人 グローバル・ネクストリーダーズフォーラム          | 「グローバル・ネクストリーダーズフォーラム2023 本会議東京大会」<br>本会議に10程度の国や地域から学生や教授を招き、「情報」をテーマに構築された10日間に及ぶプログラムを通じて将来のグローバル・リーダーの育成を目指す。                      |
| グローバルユース防災サミット実行委員会                  | 「グローバルユース防災サミット」<br>国内外で防災に携わる若者が地域的視点と世界的視点の双方に立ち、交流と学習の過程を通じて、各々の災害リスクや防災の現状、課題への理解を深め、「世界的共助」に導く実践に取り組む。                            |
| NPO法人 シャイン・オン・キッズ                    | 「共生社会を実現するための発信力及び課題解決力のある小児がん経験者のリーダーを育てる」<br>キャンプカレッジにおいて小児がん経験者自身がファシリテーターとなって同じ経験を持つ仲間とともにやりたいことを企画し、次世代の小児がん経験者の牽引役となるような人材を育成する。 |

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| <p>湘南とアジアの若者による<br/>未来創造事業実行委員会</p>  | <p>「平和交流プログラム」<br/>インドネシアで日本語を学ぶ学生を湘南に招聘し、日本人学生と共に広島、湘南においてフィールドワーク等を行う。</p>  |
| <p>NPO 法人 Chance For All</p>         | <p>「こどもたちが自分の意志で自由に来ることのできる居場所「駄菓子屋 irodori」運営活動」<br/>学童保育だけではカバーできないこどもたちの居場所としてフリースペース付の駄菓子屋を開設。企画・運営は大学生が担い、地域に大学生がつくる居場所があることによって、こどもたちの心が安らぐ場所を作る。</p>   |
| <p>中央大学ボランティアセンター<br/>(中央大学公認団体)</p> | <p>「東日本・熊本・真備の経験を新たな被災地に活かす「学生ボランティア世代間継承」の仕組みづくり」<br/>三陸被災地・熊本地震被災地・西日本豪雨災害被災地において、継続的に行ってきた支援活動リソースを、新たな被災地支援に転換させていくためアーカイブ化し、新たな災害支援に役立てる継承の方法論を確立する。</p> |
| <p>日中学生会議</p>                        | <p>「第 41 回日中学生会議」<br/>『「結実」～架け橋となる存在へ～』との理念のもと、「41 代にもわたって積み上げてきた日中友好への願いが出来上がるよう」という想いを込めて日中両国合わせて 52 人の学生が大阪、静岡、東京にて、観光やフィールドワークなどを交えて議論を行う。</p>            |
| <p>NPO 法人 Being ALIVE Japan</p>      | <p>「スポーツを通じた長期療養児の支援活動を普及するインターン事業」<br/>スポーツを通じて長期治療中のこどもの自立支援、コミュニティの創出をミッションに活動し多くの長期治療中の子供たちの「青春」を支援する機会を増やすために、多分野・多職種と協働し、社会に還元できる人材育成を行う。</p>           |
| <p>認定 NPO 法人 very 50</p>             | <p>「Partnership for Asian Leaders: PAL」<br/>日本の大学生を対象にアジア新興国で活躍できるリーダーを増やすべく、東南アジア各国の学生との国際交流・協働プロジェクトを通して、日本、アジアで活躍できる次世代リーダーを育成する。</p>                      |
| <p>有限責任事業組合<br/>まちとしごと総合研究所</p>      | <p>「若者のシビックプライドを育む下京・ソーシャルグッド・レポーターズの育成」<br/>大学生が地域コミュニティの取り組みを体験・参加することができる仕組みを生み出し、希薄化する地域住民と若者の絆を再構築し、シビック・プライド（地域に対する誇り・愛着）をもつ若者を育成する。</p>                |
| <p>NPO 法人 リンクトゥミャンマー</p>             | <p>「在日ミャンマー人への定住支援や日本・ミャンマー間の文化交流を通じた人材育成事業」<br/>日本の高校生・大学生・大学院生がインターンとして在日ミャンマー人への医療機関や公的機関への同行支援、労働に関係する支援等、定住支援事業に従事し社会での即戦力人材を育成する。</p>                   |

## 2022 年度主要行事 年間予定表

|                        | 日 程              | 場 所           |
|------------------------|------------------|---------------|
| 2022 年                 |                  |               |
| 大学3年生セミナー              | 5月21日(土)、22日(日)  | クロス・ウェーブ船橋    |
| 第39回理事会                | 6月7日(火) 11:00～   | 帝国ホテル 松の間     |
| 第12回定時評議員会             | 6月22日(水) 11:00～  | 帝国ホテル 松の間     |
| 大学奨学生選考委員会             | 8月上旬             | 電通銀座ビル 8F 会議室 |
| 第4期「リーダー育英塾」           | 8月16日(火)～18日(木)  | クロス・ウェーブ船橋    |
| 大学院生セミナー               | 8月～9月            | 未定            |
| 大学1・2年生セミナー            | 9月17日(土)、18日(日)  | 湘南国際村センター     |
| リーダー育英塾カンファレンス<br>2022 | 10月中旬            | 未定            |
| 第26回資産運用委員会            | 10月21日(金) 13:30～ | 電通銀座ビル 4F 会議室 |
| 第40回理事会                | 11月17日(木) 11:00～ | 電通銀座ビル 8F 会議室 |
| 奨学生の集い 2022            | 11月中旬            | 未定            |
| 2023 年                 |                  |               |
| 助成団体選考委員会              | 1月下旬～2月上旬        | 電通銀座ビル 4F 会議室 |
| 第27回資産運用委員会            | 2月中旬             | 電通銀座ビル 4F 会議室 |
| 修了生交流会                 | 3月中旬             | 帝国ホテル (予定)    |
| 第41回理事会                | 3月下旬             | 帝国ホテル         |

以上